

海士

藤原不比等の子、房前は亡母の追善に
国志度の浦を訪れ、ひとりの女の海人に
出会いました。

故・山本眞義17回忌追善

九州山本会

平成28年

9月25日(日)正午開演

会場／大濠公園能楽堂

乱

中国の揚子の里の高風という男は
揚子の市でお酒を売れば
富み栄えるという夢を見ます。

- 解説 能へのいざない
- 能 「海士」
- 狂言 「隠狸」
- 仕舞 「通盛」
「笹之段」
- 能 「乱」

■主催／九州山本会

■後援／福岡県・福岡県教育委員会・福岡市・福岡市教育委員会

入場券 (全席自由) ●一般前売 5,000円 ●一般当日 6,000円 ●学生 2,500円

入場券取扱・お問い合わせ 山本能楽堂／Tel.06-6943-9454 Fax.06-6942-5744 ・今村宮子／Tel.092-504-2664

入場券取扱 大濠公園能楽堂／Tel. 092-715-2155 ・森本能舞台／Tel. 092-711-8888

正午始

解説 能へのいざない

山本 章弘

能 「海士」

シテ(前:海女 後:龍女) 今村 一夫
 子方(房前大臣) 今村 莊介
 ワキ(従者) 福王 知登
 ワキツレ 村瀬 提
 ワキツレ 矢野 昌平
 アイ(浦人) 野村 万緑

笛 森田 徳和
 小鼓 飯富 章宏
 大鼓 白坂 信行
 太鼓 田中 達

後見 波多野 晋
 林本 大



今村 一夫

地謡 松浦信一郎
 山本 博通
 森本 哲郎
 今村 宮子
 久保誠一郎
 山口剛一郎
 今村嘉太郎
 井内 政徳

● あらすじ

藤原不比等(淡海公)の子、房前(ふさぎき)の大臣は、亡母を追善しようと、讃岐の国志度の浦を訪れます。志度の浦で大臣一行は、ひとりの女の海人に会いました。海人は従者から海に入って海松布(みるめ)を刈るよう頼まれ、そこから思い出したように、かつてこの浦であった出来事を語り始めます。淡海公の妹君が唐帝の後になったことから贈られた面向不背(めんこうふはい)の玉が龍宮に奪われ、それを取り返すために淡海公が身分を隠してこの浦に住んだこと、淡海公と結ばれた海人が一人の男子をもうけたこと、そして子を淡海公の世継ぎにするため、自らの命を投げ打って玉を取り返したこと……。語りつつ、玉取りの様子を真似て見せた海人は、ついに自分こそが房前大臣の母であると名乗り、涙のうちに房前大臣に手紙を渡し、海中に姿を消しました。

房前大臣は手紙を開き、冥界で助けを求める母の願いを知り、志度寺にて十三回忌の追善供養を執り行います。法華経を誦読しているうちに龍女となった母が現れ、さわやかに舞い、仏縁を得た喜びを表します。

この作品の山場は、海人が龍宮から珠を奪い返す様子を見せる「玉の段」です。一振りの剣を持って龍宮のなかに飛び入り、八大龍王らに守られた玉塔から宝珠を取り、乳房の下を掻き切って押し込める…。子のため、使命のために自らの命を投げ出す一人の海人の気迫が、特別な謡と型を伴い、ドラマチックに表現されています。

休憩15分

舞囃子 「天鼓 盤渉」

シテ(天鼓の霊) 森本 哲郎

笛 相原一彦 小鼓 飯田清一 大鼓 白坂保行 太鼓 吉谷 潔
 地謡 山本章弘 久保誠一郎 今村宮子 井内政徳 吉山 有

狂言 「隠狸」

シテ(太郎冠者) 野村 万緑 後見 吉良 博靖
 アド(主人) 吉住 講

● あらすじ

太郎冠者が狸を捕るのが上手であるという噂を聞いた主人は、その噂が本当なのか尋ねます。太郎冠者は、狸なんて捕ったことがないと主人に嘘をつきます。主人は、太郎冠者の狸をあてにして、狸汁をふるまおうと客を招く手配をしてみましたので、太郎冠者に、市に行って狸を買ってくるよう命じます。太郎冠者は、たまたま事前に捕った狸を市で売ろうとしていたので、市に行き、狸を売ろうとします。一方、主人は太郎冠者が狸を捕らないと言ったことを信じておらず、市に行き様子を見ることにします。そうして、太郎冠者が狸を売ろうと、うっかり主人に声をかけてしまいます。太郎冠者は、狸を売ろうとしているのではなく買おうとしていたのだとごまかし、狸を自分の背後に隠しますが…。

仕舞 「通盛」

地謡 山本 博通

「笹之段」

今村 一夫 今村嘉太郎

「融」

井上 俊明

休憩10分

能 「乱」

シテ(狸々) 山本 麗晃
 ワキ(高風) 福王 知登

笛 相原 一彦
 小鼓 飯田 清一
 大鼓 白坂 保行
 太鼓 吉谷 潔

後見 山本 章弘
 松浦信一郎



山本 麗晃

地謡 山本 順之
 波多野 晋
 山本 博通
 今村 一夫
 山口剛一郎
 林本 大
 吉山 有
 井上 俊明

● あらすじ

中国の揚子(ようず)の里に、高風という大変親孝行の男が住んでいました。ある晩のこと、高風は、揚子の市でお酒を売れば、富み栄えることができるという夢を見ます。夢のお告げに従って、お酒の商売をしたところ、高風はだんだんとお金持ちになっていきました。また、高風が店を出す市では、不思議なことがありました。いつも高風から酒を買い求めて飲む者がいたのですが、いくら酒を飲んでも顔色が変わることがありません。高風が不思議に思い、名を尋ねると海中に棲む狸々だと名乗りました。

その日高風は、酒を持って潯陽の江のほとりへ行き、狸々が現われるのを待っていました。そこへ赤い顔の狸々が現われます。狸々は友の高風に逢えた喜びを語り、酒を飲み、舞を舞います。そして心の素直な高風を称え、今までの酒のお礼として、酌めども尽きない酒の泉が湧く壺を贈った上で、酔いのままだに臥します。それは高風の夢の中での出来事でしたが、壺はそのまま残り、高風の家も長く栄えたといわれます。まことにめでたいことでした。

今回は、「乱(みだれ)」という特殊演出で、曲中でシテが舞う中之舞を、乱(みだれ)という特殊な舞に変えて演じます。この場合、番組上では「狸々」ではなく「乱」または「狸々乱」と記され、これらは披き物の一つで、特別な修練が必要とされます。

山本能楽堂+team OKINAが開発した無料アプリ

We Noh!

能について楽しく学べる能楽アプリ。
 能の演目のアニメやゲームもあります。
 気軽にダウンロードして楽しんでください。

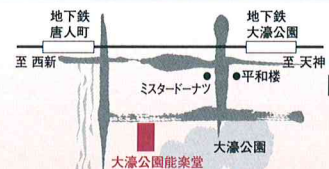
主催 九州山本会

入場券(全席自由) ●一般前売 5,000円 ●一般当日 6,000円 ●学生 2,500円

入場券取扱・お問い合わせ 山本能楽堂 / Tel.06-6943-9454 Fax.06-6942-5744

今村 宮子 / Tel. 092-504-2664

入場券取扱 大濠公園能楽堂 / Tel.092-715-2155 ● 森本能舞台 / Tel.092-711-8888



会場 大濠公園 能楽堂

福岡市中央区大濠公園1番5号 TEL.(092)715-2155

●地下鉄 大濠公園駅または唐土町駅・・・下車徒歩7分
 ●西鉄バス/黒門バス停または西公園バス停・・・下車徒歩5分
 ●昭和バス/西公園バス停・・・下車徒歩5分